反抑圧的処理の手引き

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会 アーカイブ局

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会は、2021年の総会以来あらゆる形の差別に対抗することをその宣教方位に含めています。この目標を支援するため、アーカイブ局はアーカイブ活動のアプローチを変容し、その慣行の変更に尽力しています。この『反抑圧的処理の手引き』は、コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会アーカイブ局（アーカイブ局）の処理活動を反抑圧的なものにするために必要なガイドラインを提示し、ツールを提供します。これは、すべての処理、再処理、事前処理プロジェクトに適用されます。

『反抑圧的処理の手引き』の目的は以下の通りです：

- 差別疎外されているグループの声を増幅する
- すべての利用者（従業員や研究者）が安全なスペース内でアーカイブを利用できるようにする
- アーカイブ活動において徹底的に共感を実践する
- 透明性をもって活動を行う

目次

序文 3

なぜこれを行うのでしょうか？ 3

何に向かっていくのでしょうか？ 3

どのように行うか？ 4

文化に関する謙虚さ 4

ゆっくりと行うアーカイブ 4

透明性 5

繰り返し 5

協働と協議 5

勧告 5

（再）処理を行う前に 5

記述スタイル 6

問題のある内容 6

警告 8

人物の特定 8

校正 9

差別の類型 9
ツール 10
内部リソース 10
外部リソース 10
参考文献 11

序文

アーカイブ局の活動に反抑圧的アプローチを導入するという決定は、包含性と反抑圧という概念について深く振り返りを行った結果です。遺産共同体の多くの個人や活動グループの振り返りがこの振り返りを培い、導いてくれました（参照）。これらには心から感謝しています。

アーカイブ局は、所蔵品やコレクションの反抑圧的な方法での処理の採用によって、ある特定のコミュニティに対する差別や偏見の背後にあるシステムの内部に自分たちがいることを認識し、そのシステムを解体する積極的な担い手となることを約束します。包含的なアプローチでは不十分でした。というのは、このアプローチではもともと差別的な現行のシステムを受け入れてしまっており、このシステムそのものが差別的であるからです。しかし私たちは、アーカイブの環境をより包括的なものにするための取り組みはすべて重要であることを理解し、それらを支持します。

なぜこれを行うのでしょうか？

アーカイブはこれまで、そして今でも、ある特定のコミュニティの抹消とそれらコミュニティに関する固定観念の持続に加担してきています。誰が記憶に残っていくのか、またどのように記憶されるのかの選択によっては、これらコミュニティのメンバーに対する暴力が永続する可能性のがあります。[i]アーカイブは、文書を作成した人独特の物語を明らかにします。そしてその人は概して見えざる、あるいは明らかに力をもつ立場にあり、意識的または無意識のうちに暴力を行使する可能性があります。[ii]

アーキビストは、アーカイブ文書の保存・識別方法の中で重要な役割を果たしています。アーキビストは、所蔵品やコレクションに何を含むべきかを決定し、どのような内容を調査ツールで強調すべきかを選択し、文書の背景を明らかにすることで文書の解釈に影響を与えます。またアーキビストは必ずしもこの事実に気づかず選択を行います。というのも、アーカイブ職は客観性や中立性というイメージを与えるからです。にも関わらず、中世以来築き上げられ近年疑問視されているこの職業が持つと言われている中立性は、差別を受けているコミュニティの疎外の一因となっています。なぜなら、この中立性は男性的で、異性愛者で、白人であることを暗に示しているからです[iii]。

遺産機関の中には、植民地主義、帝国主義、白人至上主義を実践する国家に奉仕した人々の設計したアーカイブの慣行を疑問視することなく受け入れたり、また変更することを拒否することで、アーカイブの脆弱性[iv] を示し、抑圧の連鎖を助長するものもあります。[v]アーカイブ局は、アーカイブに記録されている、あるいはアーカイブが永続を許してきた不正義を是正することが倫理的課題であると考えています。その結果、文化的に構築してきたアーカイブの慣行よりも正義が優先されます。

> *かつての植民地主義の触媒であったアーカイブを改革するために、アーキビストがアクティビズムを職務の一部として捉えるべき時が来たのです。*[vi]

何に向かっていくのでしょうか？

アーカイブ局は、社会正義に根ざしたアーカイブ学の実践を目指しています。これはつまり、人々を私たちの活動方法の中心に据えるということです。アーカイブの活動は、常に文書を保存しその普及に務めることですが、同時に、過去にこれらの文書の影響を受けたり、いまでも影響

を受けている人々を思いやることでもあるのです[vii]。*思いやりの倫理* に基づくこのアプローチの中で、アーキビストは記録の作成者、記録に登場する人々やコミュニティ、記録を利用する人々とつながりのある世話人とみなされます。そしてこれらの人々に対する正義を実践し、特に差別を経験してきた、あるいは今経験している人々を公正に扱う責任を持ちます[viii]。

人間に焦点をあてて活動を行うことで、徹底的に共感していくことを目指しています。これには、私たちが暮らしているシステムを変容するために具体的かつ意図的な行動を起こすことが含まれています：

> *徹底的な共感の実践とは、資本主義、性差別、人種差別、能力差別などのような抑圧の信念や制度に根ざした現状に絶えず反対することを意味する。* [...] *しかし、同時に危害と疎外の連鎖を永続させ続けるのであれば、他人の経験への共感や理解だけでは不十分である*[ix]*。*

アーキビストとして、これは、文書を作成するまたは使用する、あるいは文書の対象となる人々の経験するトラウマを考慮に入れること、差別と闘うために私たちの専門職の環境の変化を要求すること、そして思いやりと修復の活動を犠牲とする生産性の要求に抵抗することを意味する。[x]言い換えれば、アーキビストとしての特権を振り返り、抑圧の連鎖を断ち切るために意識的に行動するよう、私たちを導いてくれるのである。

> *積極的な共感は、私たちの相互性とつながりを増幅し、またそれによって私たちの共同の豊かさを利用することを可能にし、私たちの中で最も恵まれた立場にある人たちが私たちの原則的立場を認識し、排斥されている人たちに力を据え直し、私たちの資源を再投資再分配し、より寛大に共に成長する方法を考えるための場を作るのである。*[xi]

どのように行うか？

これらの目標を達成するためにはアーカイブ活動へのアプローチを見直す必要があります。そのために、イェール大学図書館の*関係修復に向けたアーカイブの記述活動グループ*（RAD）のメンバーの定めた原則を取り上げます。[xii]

文化に関する謙虚さ

文化に関する謙虚さとは、自分自身の原則的な立場と自分が働く組織の原則的な立場の知識を得、それを認めることに基づいています。そこには、自分たちの持っている特権と自分たちの活動の中の力関係を十分に気づくことが含まれます。このことは、私たちの取り扱うアーカイブ資料から影響を受けるコミュニティに私たち自身が属していない場合にはなおさら大切になります。文化に関する謙虚さとは、自分が知らないまたは間違っている可能性があるというのを受け入れることでもあります。助けと求め、改善しようとする努力に献身するのです。

ゆっくりと行うアーカイブ

この活動方法では、アーカイブ内の所蔵品や資料の処理に時間をかけることも含みます。それはつまり、伝統的なアーカイブ処理方法を適用する前によく考える時間をとること、所蔵品や資料の関わっているコミュニティのメンバーに文書の普及や保存方法について相談し、彼らのリズムを尊重する時間をとること、そして文書を適切に文脈づけるために必要な情報を収集する時間をとることです。処理の速度を落とし、文書を作成した人や文書に登場する人を犠牲にして生産性

を優先することを拒否することで、アーカイブを通して倫理的に関係修復の活動に向かうことができます[xiii]。

透明性

透明性は 3 つのレベルで働いています。まず第一に、問題のある所蔵品管理ファイルの内容そのものを保存して調査を可能にし、過去にアーカイブ局が実施した可能性のある差別的慣行を抹消しないことが含まれます[xiv]。第二に、アーカイブ処理の日付と責任者に関する情報を確実に記録することが不可欠となります[xv]。最後に、過去差別された、また現在差別されているコミュニティに関わる私たちの所蔵品やコレクションの中の空白と、これらの空白に対する組織としての責任を明確に述べなければなりません[xvi]。

繰り返し

私たちは、反抑圧的な処理を繰り返すもの、つまり、処理が完成することは決してなく、適切で意味があることを確かにするために定期的に評価しなおす必要があると考えています[xvii]。私たちは、個人的にも専門家としても、時間をかけて適応していく準備ができています。

協働と協議

協働的かつ協議的なアプローチを採用することで、私たちは差別にかつて苦しんだ、あるいは今でも苦しんでいるコミュニティとの関係を発展維持することを約束します。このような関係を築くには時間が必要です。私たちはこのようなパートナーシップが適切であると信じており、該当するコミュニティの尊重を保証するよう専心する準備ができています。これはつまり、私たちのデータベース内の問題のある内容を修正するツールを利用者に提供したり修正してもらったり、あるいはアーカイブの説明の別バージョンを並列表示したりすることを意味します[xviii]。

勧告

上記のガイドラインと原則を実践しなければなりません。以下の勧告は、アーキビストが所蔵品やコレクションを（再）処理する際の指針を目的としています。これらは勧告であって必要条件ではありません。なぜなら、（再）処理プロジェクトは各々独特であり、公正で関係修復的なアーカイブを実践するために適用するすべての案件に共通の反抑圧的な作業方法はないからです。アーキビストには、これらの勧告を採用し、自分たちが（再）処理するアーカイブに適用していく義務があります。

これらの勧告を作成するにあたり、数多くの導きを参考にしました。フィラデルフィアの黒人生活アーカイブ（A4BLIP）[xix]グループと、ルーベンシュタイン図書館サービス（デューク大学）[xx]のそれは特に有用でした。勧告の中のいくつかは直接これらから採用しています。

（再）処理を行う前に

（再）処理プロジェクトを開始する前に、文書の出処、文書作成、アーカイブの文書取得に関する各情報を文書化することが不可欠です。以下の質問は、これらの点を考えるための出発点となります。

- これらの文書はどのようにして我々の手に落ち着いたのか？どの個人または法人のおかげでここに落ち着いたのか？
- なぜこの文書が作られたのか？

- 文書を作成した人物を、その文書を作成した唯一の人物とみなすのか？「見えない」作成者（配偶者、補佐、秘書など）はいるか？
- このような文書の存在と現在の記述は、記述に登場するコミュニティや人々を非人間化したり、別の価値観を作ったり、実際とは反対の、または歪曲した理解に加担しているか？
- その文書に登場する人々は、当の文書の存在を知っているのか？そしてこれらの文書の作成および／または保存に同意しているのか？彼らは文書の作成および／あるいは保存の力を持っていたのか？
- 文書を作成する人々と文書内に登場する人々の間には、どのような力関係および／あるいは支配関係が働いているのか？それぞれの側の代表同士の間はどうか？
- 文書内に登場する人々や活動を尊重し、包含的で適切に表現する方法は何か？

これらの質問は、アーキビストと文書によって影響を受ける人々との間に根本的な共感関係を築くのに役立ちます。処理においてはこれらの人々の多様な視点を考慮に入れる必要があります[xxi]。ここから私たちは、文書がどこから来て、どのように保存されるかについて、これまでとは違った考え方へと導かれます。これらの文書に影響を受けた人々全員の同意なしに保存すべきなのでしょうか[xxii]？

記述スタイル

アーカイブの所蔵品やコレクションの記述は、利用者にとって文書との最初の接点です。これらの記述で使われるスタイルや言葉が文書の状況を設定し、文章の受け取り方に大きな役割を果たします[xxiii]。以下の勧告は、望ましい、あるいは避けるべき言葉の選択に関するものであり、また、アーカイブの所蔵品やコレクション、およびそれらの内容のあらゆるレベルでの記述の仕方に関する、より包括的な考え方から出たものです。特に「管理史／伝記」欄には注意を払うべきです。というのは、この欄はしばしば、所蔵資料やコレクションへの最初の接触点になるからです。

- 中立性や客観性（これらは存在しません）を目指すのではなく、敬意と善意に満ちた表現を選ぶ
- 支配関係の記述では受動的な表現は避け、能動的な表現を用いることで関係者の責任を明確にする
- 人々の（文化的、宗教的等）アイデンティティよりも人間性に焦点を当てる
- 暴力や差別の記述の際は明確で適切な言葉を使用し、婉曲な表現を用いて緩和したり検閲したりしない
- さまざまなタイプの読者が記述を理解できるよう、長く複雑な文章は避ける
- 外部資料を使用した場合、または文書を引用した場合は、その旨を明記する
- 文書に登場する人々と同様に、文書を作成した人々にも注意を払う
- 解釈や憶測を避け、グレーゾーンを隠そうとせずそのまま示す

問題のある内容

問題のある内容とは、あらゆる種類の抑圧的な要素を含むアーカイブの記述を意味します（文書自体が問題のある内容を含む場合、警告を書く必要があります。警告を参照）。このような問題のある内容は、文書の作成者や別の時代に文書を処理したアーキビストに由来するものかもしれません。それが文書の中心となることもあれば（例えば、典型的な先住民の衣装を着た人々のグループを写した写真）、隠れている時もあります（例えば、トランスジェンダー嫌悪のスローガンが書かれた看板を背景に、女性の権利を訴えるデモを写した写真）。問題のある内容の指摘は繰り返しの過程でおこなわれます。自分たちの（再）処理プロジェクトがすべて網羅できると主張することはできません。というのは、所蔵品やコレクションの各アイテムを個別に分析するこ

とが不可能だからです。しかし、データベースや普及活動において題名が最初の接点になることが多いため、題名に特に注意を払わなければなりません。

問題のある内容の管理は、利用者と検索可能性という 2 つのレベルへの影響を考慮しなければなりません[xxiv]。侮辱的な用語を削除したり、めったに使わない、あるいはまったく使わない用語に置き換えたりすると今度は差別を特定できず、差別を見えなくすることにつながりかねません。侮辱的な用語をそのままにしておけば、データベースや文書を参照する人々を侮辱したり不快感を与えることにつながりかねません。問題のある内容の出処によって、さまざまな解決策を講じることができます。私たちは、どれだけ善意で解決策を選択しても完璧ではなく、問題のある内容に今影響を受けている、あるいはこれから影響を受けるすべての人に沿ったものではないことを自覚しています[xxv]。

問題のある内容が文書作成者に由来する場合、私たちは次のように勧告します：

- 刊行文書の題名：
  - たとえ問題のある用語が含まれていたとしても、出版されたままの題名を維持し、文書を見つけられるようにしておく
  - 適切なレベルの記述で警告を書く
- 作品やファイルの題名：
  - 問題のある用語を明確で説明的な一般用語に置き換え、角括弧でくくる（例：「【人種差別主義誹謗用語】の中のマルグリット・ブールジョワ」）
  - 古い題名は、いつ誰がその題名を削除し、置き換えたかを明記し、注として残しておく（例：元の題名：「野蛮人の中のマルグリット・ブールジョワ」。2024-05-28、アンヌ＝ソフィー・フルニエ＝プラモンドンが削除置き換え）
  - 適切なレベルの記述で警告を書く
- 記述：
  - 保存：
    - 侮辱的な記述が文書の理解に役立つ場合は、引用符で囲む
    - 継続して使用する侮辱的な用語の使用背景と、この言葉を継続して採用する理由を説明する注意書きを書く
    - 適切なレベルの記述で警告を書く
  - 削除：
    - 文書の理解に関係のない問題用語を含む記述は反抑圧的な記述に置き換える
    - 旧記述を所蔵管理ファイルに保存し、なぜ、いつ、誰がその記述を削除し、置き換えたかを明記した注意書きを書く（例：ファイルの記述には文書のよりよい理解を妨げる侮辱的な用語が含まれていたため、データベースから削除し所蔵管理ファイルに保存した。アンヌ＝ソフィー・フルニエ＝プラモンドンが書き換え（2024-05-28）
    - 適切なレベルの記述で警告を書く

問題のある内容が別の時代のアーキビストの記述から来るものである場合、以下の勧告を推奨します：

- 問題のある記述の用紙を所蔵品管理ファイルに保存する
- 問題のある内容を修正し、記述を置き換える

- なぜ、いつ、誰がその記述を削除し、置き換えたのかを明記した注意書きを書く

侮辱的な用語を継続して使用するかどうかは、影響を受ける地域コミュニティと協働の上決定しなければなりません。使用された用語、特に文書の作成者が使用している用語について、彼らがどのように感じているかを協議することが大切です[xxvi]。

（再）処理プロジェクト中に問題のある内容が見つかったら、表を作成しそれに全て記録しなければなりません：*所蔵品やコレクション内の差別の例*。この表は、私たちの所蔵品やコレクション内の差別の事例を指摘するための不可欠なツールです。

警告

アーカイブ記述の規則 (RAD)には、問題のある内容に関連する警告を記録するための特定のフィールドはありません。データベースの記述に該当するレベル、またすべてのユーザーがアクセスできるフィールドで注記を規格化して加えなければなりません。概して研究調査がオンラインで行われ、また研究調査ツール全体が閲覧されるわけではないことを考慮すると、警告を所蔵品やコレクションのレベルにまで広げることが大切になります。

これらの警告注記は、問題点を包み隠さず明確に書くべきです。問題のある内容すべてに同様の一般的な注記を使用するのではなく、何が問題かを明確に特定することが大切です。例えば、「このコレクションには侮辱的な内容が含まれています［...］」と書く代わりに、「このコレクションには人種差別的／同性愛嫌悪的／性差別的／等の内容が含まれています」といった直接的な表現を使ってください。「アーカイブ局の使用する差別基準のリストがあります（差別の類型を参照）。

人物の特定

（再）処理プロジェクトでは、文書を作成した人々やコミュニティ、あるいは文書に登場する人々やコミュニティをどのように記述し、特定するかを決めなければなりません。このような選択を適切かつ敬意を持ち透明性のある方法で行うことは私たちの責任です。どの用語を使用すべきかを決定するにあたっては、以下の勧告が参考になります。

- 人（出自、ジェンダー、性別、宗教、社会経済的地位など）やコミュニティのアイデンティティをどのように決定するのか？
    - 自己のアイデンティティを優先する
        - 本人が自分たちの文書のなかで指摘することもできるい、その人が存命なら直接尋ねることもできる
        - コミュニティのメンバーに助言を募ることもできる
    - その人物やコミュニティが使った用語を見つけるために所蔵資料やコレクションの他の文書や参考文献を参照する（外部資料を参照）
        - 情報が不明確だが妥当な結論が導き出せる場合は、仮説を立て、あくまで仮説として提示する（例えば、所蔵品内の書簡のやり取りから、文書の作成者はある一定の期間ある一人の女性と交際していたという仮説を立てる）
        - 情報が不明確かつ結論が導き出せない場合は、所蔵資料に空白があることを認め、それを埋めようとはしない
    - ジェンダーや性別についての憶測を避ける（「ある女性」の代わりに 「ある人物」を使う）

文書に関係する人物を特定することは、単に名前を挙げる以上のことです。その目的は、アーカイブ内での白人存在の過剰と闘うことでもあります。ここで言いたいのは、ある人物や集団の出自が示されていなければ自動的に白人を意味する、という事実と同時に、[xxvii]歴史における白人の役割が過大評価されているということです。不可視の規範としての白人性と闘うためには、以下の勧告を考慮に入れなければなりません。

- 文書の関係者全員の出自に言及する
    - 白人には小文字を使う
    - その他の出自の人には大文字を使う
- 歴史が白人の到着から始まると思い込まない（例えば、「最初に行った人」ではなく、「最初に行った白人」と書く）

校正

反抑圧的な（再）処理プロジェクトの終了時には、一歩引いてすべての記述を見直すことが不可欠です。これにより、すべての関連情報が適切なレベルに配置してあるか、文書に関係するすべての人々（作成者、文書内の人、利用者）が公平に扱われているか、敬意を持ってで適切に選択を行ったかを確認することができます。言い換えれば、差別と対抗する方法で（再）処理したかどうかを査定する時間を取ることなのです。以下の質問が皆様の考えの導きの一助となるかもしれません。

- 自分が選択した語彙は、（植民主義を）永続するものか、それとも闘うものか？
    - 特定のコミュニティに対する差別はあるか？
    - アーカイブにおける特定のコミュニティの不可視化、または過大評価はあるか？
- この記述で誰かが傷つくか？この記述が特定の人々の利益になるか？
- ある特定の人々や出来事を強調し、他の人々を隠すような記述になっていないか？
- 自分の文化的アイデンティティがこの記述にどのような影響を与えるか？
- 差別に過去苦しんだ、あるいは今苦しんでいる人々の描写は正確で、適切で、これらの人々を十分に尊重しているか？
- 別の視点はあるか？過去差別を受けた、または現在受けている人々の視点を理解するために含められる情報は他にあるか？

所蔵品やコレクションのあらゆるレベルでの記述が反抑圧的であると判断できた時、（再）処理プロジェクトを終了することができます。後日、臨時的に（利用者の要請、文書やコレクションに追加があった時など）、またはアーカイブ局の記述の監査の一環として変更を行うことがあります。

差別の類型

問題のある内容の指摘を容易にするため、さまざまな政府や専門機関のガイドラインに基づいた上で差別の類型を作成しました[xxviii]。これらの差別に加え、いくつかの差別を含む、あるいは含み得るものとして、2 種類の抑圧の追加がありました。以下は、アーカイブ局が使用する差別基準のリストです：

- 出自（国籍や民族、身体的外見、アクセント）
- 障がいまたは能力
- 性別
- 性的指向またはジェンダーアイデンティティ

- 社会経済的地位
- 宗教観
- 家庭環境
- 政治的見解
- 人種差別
- 年齢
- 奴隷制
- 助修女

ツール

これらのツールは、アーキビストの（再）処理プロジェクトのガイドとして使用されています。その多くは協働的であり、今後も進化し続けるでしょう。定期的な諮問が大切です。

内部リソース

反抑圧的なアーカイブ活動のためのガイドライン

所蔵品やコレクション内の差別の例；

遺産分野における反抑圧的・包含的実践に関する文献表（Traitement anti-oppressif des archives | Anti-oppressive archives processing（反抑圧的アーカイブ処理） | Zotero）。

外部リソース

Archivists Against Collective, "Archivists Against History Repeating Itself（歴史の繰り返しに対抗するアーキビスト）," (Accessed 2024-05-28) https://www.archivistsagainst.org/.

Chew, Carissa, "Inclusive Terminology Glossary（包含的用語集）," (Accessed 2024-05-28) https://culturalheritageterminology.co.uk/glossary/.

Colours of Resistance, "Definitions for Revolution（改革のための定義集）," (Accessed 2024-05-28) https://www.coloursofresistance.org/definitions-for-the-revolution/.

Desjardins, Catherine, Cohen-Bucher, Elisa and Kahsennoktha, "Terminology Guidelines Within Indigenous Context（先住民の文脈内での用語のガイドライン）," Mikana, 2022, https://www.mikana.ca/wp-content/uploads/2022/06/Terminology-guidelines-within-indigenous-contexts-EN-June-2022.pdf.

National Survey of Missing and Murdered Aboriginal Women and Girls, Lexicon of Terminology/Lexique terminologique（用語集）," Government of Canada, 2018, https://www.mmiwg-ffada.ca/wp-content/uploads/2018/02/NIMMIWG_Lexicon_ENFR-1.pdf.

Canadian Race Relations Foundation, "Glossary of Terms（用語単語集）," Government of Canada, 2024, https://crrf-fcrr.ca/glossary-of-terms/.

Georgetown University Library, "Anti-Racism Toolkit: Glossary of Terms（反人種主義ツールキット：用語単語集）," 2024, https://guides.library.georgetown.edu/antiracism/glossary.

Groupe de travail des services-conseils en archivistique (Conseil canadien des archives), " Boîte à outils de réconciliation pour les services d'archives non-autochtones au Canada（カナダの非先住民アーカイブ局のための和解のツールキット）," (Accessed le 2024-10-16) Boîte à outils - Archives Canada.

Kapitan, Alex, "Radical Copyeditor（急進的な編集者）," (Accessed 2024-05-28) https://radicalcopyeditor.com/.

National Indigenous Knowledge & Language Alliance / Alliance nationale des connaissances et des langues autochtones (NIKLA-ANCLA), "First Nations, Métis, and Inuit - Indigenous Ontology (FNMIIO)（先住民、メティス、そしてイヌ族–先住民の存在論）," (Accessed 2024-05-28) https://docs.google.com/spreadsheets/d/e/2PACX-1vSOKcm9HB-28iSqNN3sQd5hV7bMLMGpCeGL0dkQgyg2AiZAMWUF0sp98GyxIvLXYIWqSZ3nX_j_q4UN/pubhtml.

参考文献

Andréane Williams, "Décoloniser les Archiveses, un mot à la fois（ひと単語ずつ州のアーカイブを脱植民地化すること）," *ICI Alberta*, 11 février, 2021. https://ici.radio-canada.ca/nouvelle/1769962/archives-alberta-noirs-racismes-histoire-colonisation-bashir-mohamed.

Anti-Oppressive Description and Redescription Working Group, *Guidelines for Anti-Oppressive Description/Redescription*（反抑圧的記述／再記述のためのガイドライン）(Toronto: United Church of Canada, 2022).

Antonina Lewis, "Omelettes in the Stack: Archival Fragility and Aforeafter（山になったオムレツ：アーカイブの脆弱性と先人）," *Archivaria* 86 (automne 2018) ： 44-67.

Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* （フィラデルフィアの黒人の生活のためのアーカイブ：反人種主義的記述のためのリソース）(Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019).

Bergis Jules, "Confronting our Failure of Care Around Legacies of Marginalized People in Archives（アーカイブで脇に寄せられている人々の遺産に関わる私たちの側の思いやりの欠如に対峙すること）," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/confronting-our-failure-of-care-around-the-legacies-of-marginalized-people-in-the-archives-dc4180397280.

Carlos Granados-Ocon, "On Archival Finding Aids: Description, Power, and the Need for Shared Authority（アーカイブでの発見の助け：記述、力、力共有の必要性）," *Kapsula* 1, nº3 (mars 2014) : 22-28.

Charlotte G. Lellman, "Guidelines for Inclusive and Conscientious Description », Center for the History of Medicine（包含的で誠実な記述のためのガイドライン）" (Harvard University), 2024, https://wiki.harvard.edu/confluence/display/hmschommanual/Guidelines+for+Inclusive+and+Conscientious+Description.

Council for Culture (Pays-Bas), *Dealing with shared sources from colonial history: Advice on redress and restitution in relation to colonial archives* （植民地の歴史を共有する資料の処理：植民地関連のアーカイブに関する是正と返還に関する助言） (Netherlands : Council for Culture, 2024).

Danielle Robichaud, " Integrating Equity and Reconciliation Work into Archival Descriptive Practice at University of Waterloo（ウォータールー大学におけるアーカイブの記述活動に平等と和解を統合する）," *Archivaria* 91 (juin 2021) ： 74-103.

David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library. Technical Services Department. *How We Describe*（どのように記述するか） (Duke University: David M. Rubenstein Rare Book &; Manuscript Library, 2021), https://library.duke.edu/sites/default/files/2023-07/how-we-describe.pdf.

Donna Haraway, "Situated Knowledges: The Science Question in Feminism and the Privilege of Partial Perspective（置かれた状況での知識：フェミニズムにおける科学の問題と部分的視点の特権）," *Feminist Studies* 14, nº 3 (automne 1988) : 575-599.

Dorothy Berry, Kelly Bolding, Annie Tang et Rachel E. Winston, "Toward Culturally Competent Archival (Re)Description of Marginalized Histories（脇に押しやられた歴史の文化的に満足のいく（再）記述）," panel présenté à Archives*Records 2018 de la Society of American Archivists conference, Washington (D.C.), 16 août 2018. https://digitalcommons.chapman.edu/library_presentations/23/.

Elvia Arroyo-Ramirez, Jasmine Jones, Shannon O'Neill et Holly Smith, "An Introduction to Radical Empathy in Archival Practice（アーカイブ活動実践における徹底的な共感への序論）," *Journal of Critical Library and Information Studies* 3, nº2 (2021)：1-21, https://doi.org/10.24242/jclis.v3i2.171.

Indigenous Archives Collective, "Position Statement on Right of Reply to Indigenous Knowledges and Information Held in Archives（アーカイブの所有する先住民の知識と情報に対する返答の権利に関する立場表明）" n.d., (Consulté le 2024-06-05) https://indigenousarchives.net/indigenous-archives-collective-position-statement-on-the-right-of-reply-to-indigenous-knowledges-and-information-held-in-archives/#:~:text=The%20Indigenous%20Archives%20Collective%20asserts,through%20a%20Right%20of%20Reply.

Jarrett M. Drake, "RadTech Meets RadArch: Towards a New Principle for Archives and Archival Description（RadTech と RadArch の出会い：アーカイブとアーカイブ記述の新しい原則に向けて）," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/radtech-meets-radarch-towards-a-new-principle-for-archives-and-archival-description-568f133e4325.

Charlotte G. Lellman, "Guidelines for Inclusive and Conscientious Description », Center for the History of Medicine（包含的で誠実な記述のためのガイドライン）," (Harvard University), 2024, https://wiki.harvard.edu/confluence/display/hmschommanual/Guidelines+for+Inclusive+and+Conscientious+Description.

Jennifer Douglas, Mya Ballin et Jessica Lapp, "Introduction（はじめに）," *Archivaria* 94 (automne/hiver 2022)：5-21.

Kelly Bolding, « Reparative Processing: A Case Study in Auditing Legacy Archival Description for Racism（関係修復の処理：人種差別の聴聞遺産のアーカイブ記述におけるケーススタディ）," communication présentée à la Midwest Archives Conference, Chicago (Illinois), 24 mars 2018, https://docs.google.com/presentation/d/1MhOXx5ZlVjb_8pfvvFquMqLsUUlOHFFMT4js5EP4qnA/edit#slide=id.p.

Kimberly Christen et Jane Anderson, "Toward Slow Archives（ゆっくりと行うアーカイブに向けて）," *Archival Science* 19, nº2 (2019)：87‑116, https://doi.org/10.1007/s10502-019-09307-x.

Laurier Cress, "An Intern's Investigation on Decolonizing Archival Descriptions and Legacy Metadata（アーカイブの記述と遺産メタデータの脱植民化に関するインターンの調査）," *BitStreams ：Notes from the digital projects team* (デジタルプロジェクトティームからの注意書き blogue des Duke University Libraries デューク大学図書館ブログ), 25 mars 2021, https://blogs.library.duke.edu/bitstreams/2021/03/25/an-interns-investigation-on-decolonizing-archival-descriptions-and-legacy-metadata/.

Michelle Caswell et Marika Cifor, " From Human Rights to Feminist Ethics：Radical Empathy in the Archives（人権からフェミニスト倫理へ：アーカイブで行う徹底的な共感）," *Archivaria* 81 (printemps 2016)：23-43.

Reparative Archival Description Working Group (RAD), "Home（ホーム）," Yale Library, n.d., (Consulté le 2024-06-05) https://guides.library.yale.edu/c.php?g=1140330&p=8319098.

Sarah Haylett, "Living Archives at Tate: After An Archival Impulse（テート博物館における生きているアーカイブ：アーカイブ活動の衝動のあと）," Tate Research Publication, 2023, https://www.tate.org.uk/research/reshaping-the-collectible/archives-living-archives-at-tate-after-an-archival-impulse.

Taylor R. Genovese, "Decolonizing Archival Methodology：Combating hegemony and moving towards a collaborative archival environment（アーカイブ方法論の脱植民地化：支配に対抗し協働するアーカイブ環境に向かっていく）," Alter*Native* 12, nº 1 (2016) : 32-42.

Temple University Libraries, "Statement on Potentially Harmful Language in Archival Description and Cataloging（アーカイブ記述とカタログ作業において害のある可能性のある言語についての声明）," 10 octobre, 2018, https://library.temple.edu/policies/scrc-statement-on-potentially-harmful-language-in-archival-description-and-cataloging.

---

[i] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), 4-7; Bergis Jules, "Confronting our Failure of Care Around the Legacies of Marginalized People in the Archives," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/confronting-our-failure-of-care-around-the-legacies-of-marginalized-people-in-the-archives-dc4180397280; Michelle Caswell et Marika Cifor, « From Human Rights to Feminist Ethics: Radical Empathy in the Archives," *Archivaria* 81 (Spring 2016): 26; Antonina Lewis, "Omelettes in the Stack: Archival Fragility and Aforeafter," *Archivaria* 86 (Fall 2018): 47.

[ii]「視覚とは常に、見る力についてであり、私たちの視覚行為に内包される暴力についてなのかもしれない。」 Donna Haraway, "Situated Knowledges: The Science Question in Feminism and the Privilege of Partial Perspective," *Feminist Studies* 14, nº3 (Fall 1988): 585.

[iii] Bergis Jules, "Confronting our Failure of Care Around the Legacies of Marginalized People in the Archives," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/confronting-our-failure-of-care-around-the-legacies-of-marginalized-people-in-the-archives-dc4180397280; Carlos Granados-Ocon, "On Archival Finding Aids: Description, Power, and the Need for Shared Authority," *Kapsula* 1, nº3 (March 2014): 22; Charlotte G. Lellman, "Guidelines for Inclusive and Conscientious Description," Center for the History of Medicine (Harvard University), 2024, https://wiki.harvard.edu/confluence/display/hmschommanual/Guidelines+for+Inclusive+and+Conscientious+Description.

[iv]「それは、専門家であるアーキビストの側が、アーカイブの歴史性に加担していることを十分に認識し是正する気がないか是正する能力に欠けていることを示すものであり、その特徴としてこれはアーカイブを知的あるいは物理的に支配する態度がやめられないことが挙げられる。」 Antonina Lewis, "Omelettes in the Stack: Archival Fragility and Aforeafter," *Archivaria* 86 (Fall 2018): 52.

[v] Council for Culture (Netherlands), *Dealing with shared sources from colonial history: Advice on redress and restitution in relation to colonial archives* (Netherlands: Council for Culture, 2024), 24; Jarrett M. Drake, "RadTech Meets RadArch: Towards a New Principle for Archives and Archival Description," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/radtech-meets-radarch-towards-a-new-principle-for-archives-and-archival-description-568f133e4325.

[vi] Taylor R. Genovese, "Decolonizing Archival Methodology: Combating hegemony and moving towards a collaborative archival environment," Alter*Native* 12, nº1 (2016): 33.

[vii]ジェニファー・ダグラス、ミア・バリンおよびジェシカ・ラップ Jennifer Douglas, Mya Ballin and Jessica Lapp）、「はじめに（Introduction）、 *Archivaria* 94（2022 年秋／冬）：5 頁。

[viii] ミシェル・キャスウェル＆マリカ・シフォー（Michelle Caswell＆Marika Cifor）「人権からフェミニズム倫理へ：アーカイブにおける積極的な共感（"From Human Rights to Feminist Ethics：Radical Empathy in the Archives）」 *Archivaria* 81（2016 年春号）：24 頁。

[ix] Elvia Arroyo-Ramirez, Jasmine Jones, Shannon O'Neill, and Holly Smith, "An Introduction to Radical Empathy in Archival Practice," *Journal of Critical Library and Information Studies* 3, nº2 (2021): 4.

[x] Elvia Arroyo-Ramirez, Jasmine Jones, Shannon O'Neill, and Holly Smith, "An Introduction to Radical Empathy in Archival Practice," *Journal of Critical Library and Information Studies* 3, nº2 (2021): 9.

[xi] Elvia Arroyo-Ramirez, Jasmine Jones, Shannon O'Neill, and Holly Smith, "An Introduction to Radical Empathy in Archival Practice," *Journal of Critical Library and Information Studies* 3, nº2 (2021): 8.

[xii] Reparative Archival Description Working Group (RAD), "Home," Yale Library, n.d., (Accessed 2024-06-05) https://guides.library.yale.edu/c.php?g=1140330&p=8319098.

[xiii] Elvia Arroyo-Ramirez, Jasmine Jones, Shannon O'Neill, and Holly Smith, "An Introduction to Radical Empathy in Archival Practice," *Journal of Critical Library and Information Studies* 3, nº2 (2021): 9; Kimberly Christen and Jane Anderson, "Toward Slow Archives," *Archival Science* 19, nº2 (2019): 87‑116, https://doi.org/10.1007/s10502-019-09307-x; Sarah Haylett, "Living Archives at Tate: After An Archival Impulse," Tate Research Publication, 2023, https://www.tate.org.uk/research/reshaping-the-collectible/archives-living-archives-at-tate-after-an-archival-impulse.

[xiv] Anti-Oppressive Description and Redescription Working Group, *Guidelines for Anti-Oppressive Description/Redescription* (Toronto: United Church of Canada, 2022), 18; Kelly Bolding, "Reparative Processing: A Case Study in Auditing Legacy Archival Description for Racism," paper presented at the Midwest Archives Conference, Chicago (Illinois), March 24, 2018, https://docs.google.com/presentation/d/1MhOXx5ZlVjb_8pfvvFquMqLsUUlOHFFMT4js5EP4qnA/edit#slide=id.p; David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library. Technical Services Department. *How We Describe* (Duke University: David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library, 2021), https://library.duke.edu/sites/default/files/2023-07/how-we-describe.pdf; Andréane Williams, "Décoloniser les archives provinciales, un mot à la fois" [Decolonizing Provincial Archives, One Word at a Time], *ICI Alberta*, February 11, 2021. https://ici.radio-canada.ca/nouvelle/1769962/archives-alberta-noirs-racismes-histoire-colonisation-bashir-mohamed.

[xv] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), 11; David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript

Library. Technical Services Department. *How We Describe* (Duke University: David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library, 2021), https://library.duke.edu/sites/default/files/2023-07/how-we-describe.pdf.

[xvi] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), 11; Dorothy Berry, Kelly Bolding, Annie Tang and Rachel E. Winston, "Toward Culturally Competent Archival (Re)Description of Marginalized Histories," panel presented at Archives*Records 2018 of Society of American Archivists conference, Washington, D.C., August 16, 2018. https://digitalcommons.chapman.edu/library_presentations/23/.

[xvii] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), i; Temple University Libraries, "Statement on Potentially Harmful Language in Archival Description and Cataloging," October 10, 2018, https://library.temple.edu/policies/scrc-statement-on-potentially-harmful-language-in-archival-description-and-cataloging.

[xviii]Dorothy Berry, Kelly Bolding, Annie Tang and Rachel E. Winston, "Toward Culturally Competent Archival (Re)Description of Marginalized Histories," panel presented at Archives*Records 2018 at the Society of American Archivists conference, Washington, D.C., August 16, 2018. https://digitalcommons.chapman.edu/library_presentations/23/; Kelly Bolding, "Reparative Processing：A Case Study in Auditing Legacy Archival Description for Racism," paper presented at the Midwest Archives Conference, Chicago, Illinois, March 24, 2018, https://docs.google.com/presentation/d/1MhOXx5ZlVjb_8pfvvFquMqLsUUlOHFFMT4js5EP4qnA/edit#slide=id.p; Indigenous Archives Collective, "Position Statement on the Right of Reply to Indigenous Knowledges and Information Held in Archives," n.d...、(Accessed 2024-06-05) https://indigenousarchives.net/indigenous-archives-collective-position-statement-on-the-right-of-reply-to-indigenous-knowledges-and-information-held-in-archives/#:~:text=The%20Indigenous%20Archives%20Collective%20asserts,through%20a%20Right%20of%20Reply; Danielle Robichaud, "Integrating Equity and Reconciliation Work into Archival Descriptive Practice at the University of Waterloo," *Archivaria* 91 (June 2021)：96 頁。

[xix] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019).

[xx] David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library. Technical Services Department. *How We Describe* (Duke University: David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library, 2021), https://library.duke.edu/sites/default/files/2023-07/how-we-describe.pdf.

[xxi] Michelle Caswell and Marika Cifor, "From Human Rights to Feminist Ethics: Radical Empathy in the Archives," *Archivaria* 81 (Spring 2016): 36; Jarrett M. Drake, "RadTech Meets RadArch： Towards a New Principle for Archives and Archival Description," Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/radtech-meets-radarch-towards-a-new-principle-for-archives-and-archival-description-568f133e4325.

[xxii] Michelle Caswell and Marika Cifor, "From Human Rights to Feminist Ethics: Radical Empathy in the Archives," *Archivaria* 81 (Spring 2016): 37.

[xxiii] Jarrett M. Drake, "RadTech Meets RadArch: Towards a New Principle for Archives and Archival Description, Medium, 2016, https://medium.com/on-archivy/radtech-meets-radarch-towards-a-new-principle-for-archives-and-archival-description-568f133e4325; Charlotte G.Charlotte G. Lellman, "Guidelines for Inclusive and Conscientious Description," Center for the History of Medicine (Harvard University), 2024, https://wiki.harvard.edu/confluence/display/hmschommanual/Guidelines+for+Inclusive+and+Conscientious+Description.

[xxiv]Laurier Cress, "An Intern's Investigation on Decolonizing Archival Descriptions and Legacy Metadata," *BitStreams：Note from digital projects team* (Duke University Libraries blog), March 25, 2021, https://blogs.library.duke.edu/bitstreams/2021/03/25/an-interns-investigation-on-decolonizing-archival-descriptions-and-legacy-metadata/; David M. Rubenstein Rare Book &; Manuscript Library. Technical Services Department. *How We Describe* (Duke University: David M. Rubenstein Rare Book & Manuscript Library, 2021), https://library.duke.edu/sites/default/files/2023-07/how-we-describe.pdf.

[xxv] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), 8-9.

[xxvi] Archives for Black Lives in Philadelphia Anti-Racist Description Working Group, *Archives for Black Lives in Philadelphia: Anti-Racist Description Resources* (Archives for Black Lives in Philadelphia (A4BLiP), 2019), 8-9.

[xxvii] 「この局の所蔵資料のほとんどは、白人と白人組織について記述するものであるため、それに対応する記述的記録は白人であることが前提とされ、肌の色を事実上無視した領域で執筆され、存在し続けている。」 Danielle Robichaud, "Integrating Equity and Reconciliation Work into Archival Descriptive Practice at the University of Waterloo," *Archivaria* 91 (June 2021): 99.

[xxviii] À compétence égale, "Comment se manifeste la discrimination au travail? （職場における差別はどのように表れているか？）," 2023, https://acompetenceegale.com/24-criteres-de-discrimination/; Canadian Human Rights Commission, "What is Discrimination? ," n.d., (Accessed 2024-06-05) https://www.chrc-ccdp.gc.ca/en/about-human-rights/what-discrimination; Commission des droits de la personne et de la jeunesse du Québec, "La discrimination," n.d., (Accessed 2024-06-05) https://bib.umontreal.ca/citer/styles-bibliographiques/chicago?tab=5241958.